

中 長 期 計 画

藤崎台保育園

【理念】

- 1, 一人一人の子どもが元気なからだを育む保育園
- 2, 子どもの成長を支えながら、集団としての活動の充実を図る
- 3, 保護者と地域で協力しながら、信頼される保育園を目指す

※この3つの理念を基盤とし、子ども・保護者・地域・職員がともに育

ちあう園づくりを進める

2、現状の強み

- ・経験豊富な保育士が多く、保育の質が安定している
- ・保護者・地域・関連機関との連携が良好で、支援体制が整っている
- ・定員60名（利用定員71名）で子ども一人一人に目が届きやすい規模
- ・職員間の協力体制が整い、組織としての安定感がある

3、現状の課題

- ・保護者の園への反応が薄く、双方向のコミュニケーションが十分に活性化して
いない
- ・保護者が園に安心している一方で、意見や思いを伝える機会が少ない
- ・忙しい家庭が増え、保護者のニーズを把握しにくい状況がある

- ・ベテラン職員の知識・技術の継承を計画的に進める必要がある

4、中期目標（3年）

① 一人ひとりの育ちの充実

- ・個別の発達記録を活用し、保育内容を柔軟に調整する
- ・健康・運動・生活習慣の基礎を育む取り組みを強化する
- ・気になる子への早期支援体制を整える

② 集団としての活動の質向上

- ・協働遊び・運動・表現活動の計画を充実させる
- ・子どもが主体的に参加できる活動を増やす
- ・職員間で保育感を共有し、指導の統一性を高める

③ 保護者・地域との協力体制の強化

- ・園長・担任との面談
- ・保護者が意見を伝えやすい仕組みを整える
- ・保護者の多様な働き方に合わせた情報発信を行う
- ・地域・関連機関との連携を継続し、支援ネットワークを強化する

5, 長期目標（5～10年）

- ・個別支援と集団活動のバランスが取れた「質の高い保育モデル」を確立する。
- ・地域の子育て拠点として、相談・交流・支援の場を提供する
- ・職員のキャリアパスを整備し、経験の継承と若手育成を体系化する
- ・園舎・園庭の環境整備を計画的に進め、子どもが主体的に活動できる環境をつくる
- ・保護者との信頼関係を計画的に進め、子どもが主体的に活動できる環境をつくる
- ・保護者との信頼関係をさらに深め、園と家庭が協働して子どもの育ちを支える体制を確立する

6, 具体的な取り組み

■一人ひとりの育ちを支える取り組み

- ・個別の発達記録・アセスメントの充実
- ・運動遊び・食育・生活習慣の指導の強化
- ・個別支援計画の作成と見直し

■ 集団活動の充実

- ・ 協働遊び・運動・表現活動の年間計画の見直し
- ・ 子どもが主体的に選び、参加できる活動の設定
- ・ 行事の簡素化と質の向上

■ 保護者・地域との協力

- ・ 連絡帳アプリやミニアンケートなど、意見を伝えやすい仕組みの導入
- ・ 保護者向け講座（発達・食育・子育て相談）の開催
- ・ 地域行事（サマーフェスタ、子育てサークル）への参加・共催
- ・ 関連機関とのケース会議の定例化

■ 職員体制・組織づくり

- ・ ベテラン職員による技術伝承研修
- ・ 若手育成のメンター制度
- ・ ICT 導入による業務効率化

7、評価と見直し

- ・年度末の自己評価・第三者評価の活用
- ・職員会議での振り返りと改善案の共有
- ・保護者アンケートの分析
- ・地域・関連機関からのフィードバックの収集